

第6回日ロエネルギー・環境対話イン新潟

「新潟アピール 2013」

2013年11月18日 於：新潟市

新潟は北東アジア諸国との長い交流の歴史を持つだけでなく、石油・天然ガス・石炭といったエネルギーを受け入れ、産業や民生部門で利用し、他地域に中継輸送する拠点としての重要な役割を担っており、また、新潟にはエネルギー関連技術の開発に携わる企業が多くあることから、「対話」を新潟で開催する意義は大きいと言える。

「対話」の主催者である新潟県、新潟市および ERINA は、今次「対話」の成果を考慮し、また、日ロ間のエネルギー・環境協力の進展が北東アジア、延いては広く世界のエネルギー安全保障の強化に資することを確信し、中央・地方の産学官が一体となった「対話」の取り組みをさらに持続・拡大させるため、以下を提案する。

- 「対話」を持続し発展させるため、日ロ双方の人的ネットワークを拡充すると共に、「対話」の魅力を国内外に広く発信して関係者の関心を高めること、
- 「対話」を通じて具体的なビジネスに繋がる案件を発掘し、成功事例を増やすべく努力すること、
- 新潟が我が国エネルギー産業に果たしている受入基地および中継拠点としての優位性や機能を更に強化すること、
- 「対話」が有する意義を周知し、日ロがリーダーシップを取って北東アジア地域のエネルギー安全保障協力の枠組み設置の必要性を国内外の関係機関にアピールすること。